

第 24 期第 12 回科学者委員会研究計画・研究資金検討分科会議事録

日 時：2019 年 7 月 19 日（水）10:00～12:00

場 所：日本学術会議 6-C(1)会議室

出席者（敬称略）：相澤，大矢根，大山（Zoom），小澤，丹下，亀田，駒井，武田，中村，
藤井，古谷，山崎，渡辺

欠席者（敬称略）：井伊，松尾

事務局（敬称略）：犬塚，高谷，大澤

今回の会議は審査を行うため非公開とすることとした。

1) 前回議事録(案)の承認

- ・分科会終了時までに修正事項等の申し出はなく、原案通り承認された。

2) 委員の辞任と幹事の承認

- ・委員長より、井伊 雅子幹事が多忙のために申し出られた委員辞職とそれに伴う幹事の職を大矢根 綾子委員と交代する提案があり、承認された。

3) 大型研究計画の選定

- ・最初に評価小分科会委員に関する COI をチェックして、各評価小分科会での審査が適切に実施されたことを分科会として確認した。
- ・大型研究計画の選定は、前回（MP2017）同様に、評価小分科会での総合評価の平均点が 3 点未満の計画を不採択とするとする方針が承認された。その基準で審査した結果、MP2020 に応募した課題 135 件中の 3 件を不採択とし、残りの 132 課題を大型研究計画として採択した。

4) 重点大型研究計画ヒアリング課題の選定

- ・各分野のヒアリング件数を審議の上、委員長提案通りに決定した。その後、評価小分科会の順位付けに基づき、132 件の大型研究計画から、各分野のヒアリング課題合計 59 件を選定した。

5) 重点大型研究計画継続（15 件）、区分 II（15 件）の承認審査

- ・評価小分科会での評価に基づき、重点継続申請 15 件を継続課題として、区分 II の 1 課題を除く 14 課題を区分 II として、承認した。承認保留の区分 II 申請の 1 件（融合分野）については小分科会委員長へ差し戻し、再審査を依頼することとした。

6) ヒアリング実施、スケジュール等の確認

- ・ヒアリング時間は前回通り、発表 7 分、質疑 7 分、入替 1 分の計 15 分とした。
- ・ヒアリング採択通知の際には、審査に関わる委員への接触、説明を控える注意を文章として加えることとした。また分科会委員へもこの旨確認し、評価小委員会委員長（ヒアリングに出席）にも後日通知することとした。
- ・ヒアリング採択通知には、当該課題の日時のみが記載され、他のヒアリング採択課題の情報は秘匿とすることとした。
- ・ヒアリング時間割（課題名と説明者氏名、所属？）は事前に、「取扱注意」として内閣府を通して、ヒアリング前 2 週間程度を目処に関係省庁に情報提供することとした。なお、それ以前にも CSTI を通してヒアリングを傍聴できることを実施日とともに関係省庁や予算配分機関に周知する。
- ・前回までヒアリング会場で配布していたヒアリング時間割は、今回は配布しない（他のヒアリング課題の情報を提言発出時まで秘匿とするため）。
- ・ヒアリングに当たっては、主担当、副担当を置き、質問の口火を切ってもらうこととした。主担当、副担当の割り当てについては、委員長が後日案を作成する。ヒアリング資料はヒアリング 2 週間前程度を目処に委員に配布する。
- ・ヒアリングの評価法は前回の MP2017 を踏襲する。すなわち、評価の観点に基づく項目評価（1-3、3 を最高点とした絶対評価）と総合評価（1-5、5 を最高点とした相対評価）から成り、重点課題の採否は各委員の総合評価の平均値で決定する。ただし総合評価の各評点分布はそれぞれ 20% とする。
- ・評価の観点について、委員長の提案通り、実際に即して一部変更した（通し資料 p. 23）。
- ・新規の重点課題数の目安は、総合評価の平均点の順番で 15 位まで選ぶ。さらに必要に応じて、各部のバランス（各部から最低 2 件は選ぶ）や分野のバランス等を考慮して、新規の重点課題として 20 件以内で若干数の追加を考慮する。

7) その他

- ・提言の中に、各分野の課題数の推移（経年変化）を入れる。
- ・評価小分科会での項目評価の際の評価シートの記述修正の意見が出た（下記）。
- ・次回からは、絶対評価なので「平均 2」ではなく、「平均的な課題の評点を 2」とするという記述へ変更する。